

【資料3】

本協議会における今後の取組みについて

- 昨年度に引き続き、協議会ごとに対象輸送分野（地域における課題のある輸送分野、過去の実証実験のフォローアップ対象の輸送分野、荷待ち時間に課題のある『加工食品、建設資材、紙・パルプ、飲料・酒、生鮮食品』の輸送分野）の議論を深化する。
- 一部の地方協議会においては、今年度も実証実験を実施予定。

| 協議会 | 検討テーマ | 実証実験 |
|-----|-----------------|-----------|
| 北海道 | 生鮮食品 | 生鮮食品(農産物) |
| 青森 | 生鮮食品(農産物) | |
| 岩手 | 生鮮食品(畜産物) | |
| 宮城 | 生鮮食品 | |
| 秋田 | 生鮮食品(農産物) | |
| 山形 | 加工食品 | |
| 福島 | 生鮮食品 | |
| 茨城 | 加工食品 | |
| 栃木 | 紙・パルプ(段ボール) | |
| 群馬 | 加工食品 | |
| 埼玉 | 紙・パルプ(段ボール) | |
| 千葉 | 加工食品 | |
| 東京 | 飲料・酒 | 飲料・酒 |
| 神奈川 | 加工食品 | |
| 山梨 | 加工食品 | |
| 新潟 | 加工食品(調整中) | |
| 長野 | 生鮮食品(調整中) | |
| 富山 | 建設資材(調整中) | |
| 石川 | 加工食品(調整中) | |
| 愛知 | 調整中 | |
| 静岡 | 紙・パルプ | 紙・パルプ |
| 岐阜 | 加工食品、紙・パルプ、建設資材 | |
| 三重 | 加工食品・建設資材 | |
| 福井 | 加工食品、紙・パルプ、建設資材 | |

| 協議会 | 検討テーマ | 実証実験 |
|-----|------------------------|------------------------|
| 大阪 | 加工食品 | 加工食品(調整中) |
| 京都 | | |
| 兵庫 | | |
| 滋賀 | | |
| 奈良 | | |
| 和歌山 | | |
| 広島 | 建設資材(調整中) | |
| 鳥取 | 建設資材(調整中) | |
| 島根 | 加工食品(調整中) | |
| 岡山 | 飲料・酒(調整中) | |
| 山口 | 建設資材 | |
| 徳島 | 紙・パルプ | |
| 香川 | 紙・パルプ | |
| 愛媛 | 加工食品 | |
| 高知 | 加工食品 | |
| 福岡 | 加工食品、生鮮食品(農産物) | |
| 佐賀 | 加工食品、生鮮食品(農産物) | |
| 長崎 | 加工食品 | |
| 熊本 | 生鮮食品(生乳) | 生鮮食品(生乳) |
| 大分 | 加工食品 | |
| 宮崎 | 加工食品 | |
| 鹿児島 | 生鮮食品(鶏卵)、 生鮮食品(青果物) | 生鮮食品(鶏卵)、 生鮮食品(青果物) |
| 沖縄 | 加工食品 | |

令和2年度の輸送品目別取組強化事業について

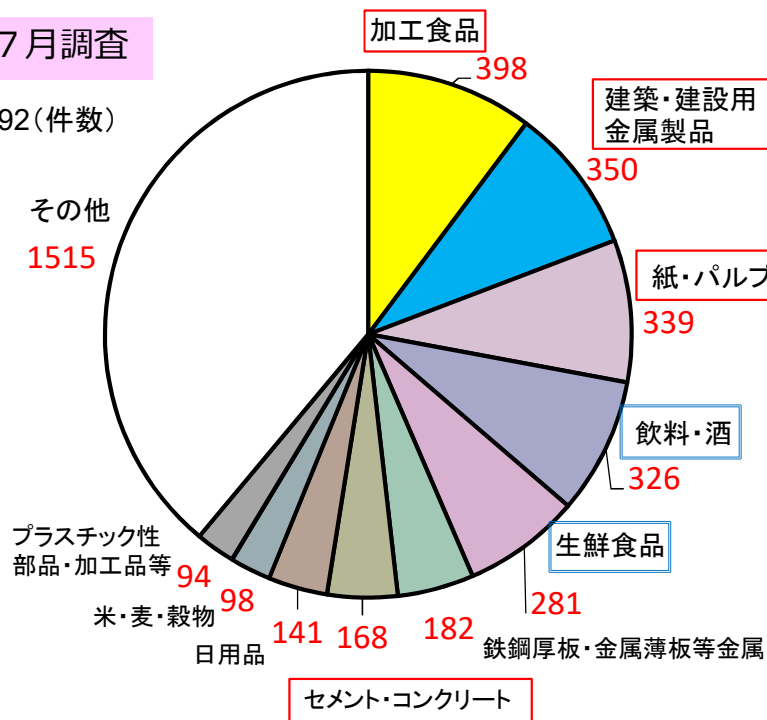
- 平成29年7月に実施した荷待ち時間実態調査において、30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多い品目（加工食品、建設資材、紙・パルプ）について懇談会を立ち上げて、課題整理や改善策について検討を行い、その結果を踏まえて品目ごとのガイドラインを策定（令和2年5月公表）。
- 加工食品、建設資材、紙・パルプの各品目については、ガイドラインにおいて示した今後の取組の方向性に沿って、引き続き課題解決のための方策について検討・検証を実施する。
- また、平成29年7月及び平成30年11月に実施した荷待ち時間の実態調査において、荷待ち時間が生じた件数が多かった「生鮮食品」及び「飲料、酒」について、課題整理や改善策の検討を実施する。

30分以上の荷待ち時間が生じた件数（輸送品目別）

は、既に懇談会を設置している品目
 は、今後懇談会設置を検討する品目

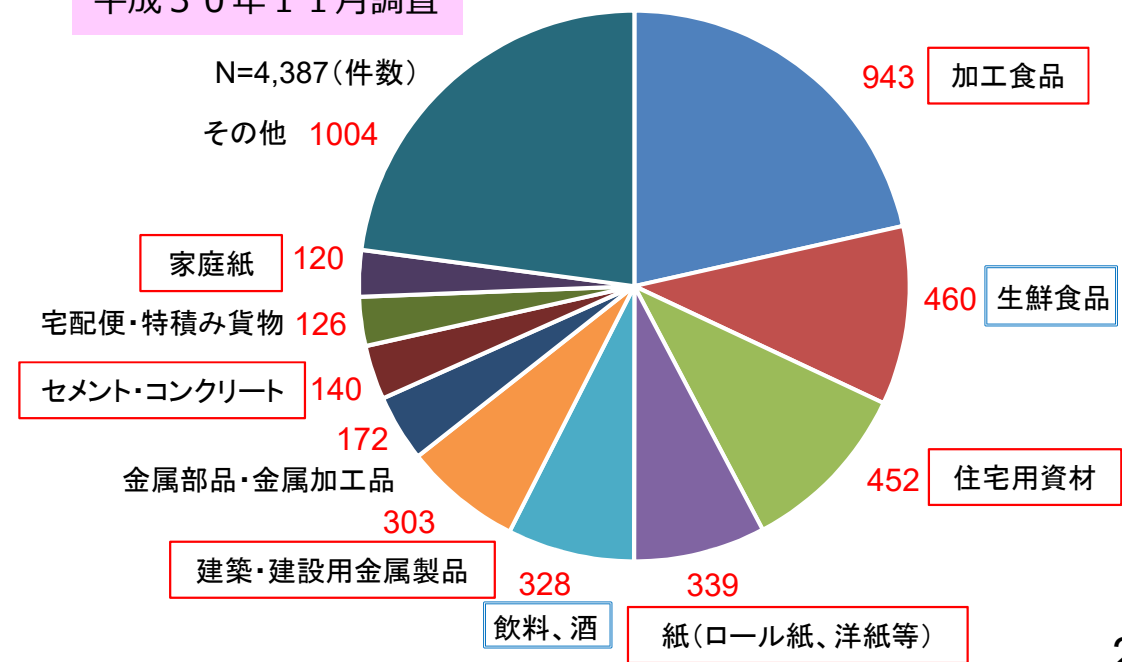
平成29年7月調査

N=3,892(件数)



平成30年11月調査

N=4,387(件数)



【取組概要】

- ・「飲料・酒」の物流は、メーカーから小売業者の物流センター又は加工食品、飲料・酒を扱う卸業者の倉庫を経由して、小売店舗に配送されている。よって、「飲料・酒」の関係者の多くは「加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」(「加工食品懇談会」という。)と重複する。
- ・関係者からは「飲料・酒」も「加工食品」と課題・打ち手の方向性は同じであるため、これを踏まえて検討を行うべきである」との声があった。
- ・「飲料・酒」についてはパレット輸送が標準となっているなど、「飲料・酒」特有の荷待ち時間発生要因はないのではないかという関係者の声が多い。よって、同じ倉庫で取り扱われている「加工食品」の荷待ち時間削減方をさらに追求することが「飲料・酒」の荷待ち時間削減にも資すると考えられる。
- ・また、「飲料・酒」において既に取り組まれているパレット化や取引コードの共通化等について、「加工食品」においても促進していくことが、「飲料・酒」、「加工食品」両方の物流改善につながるとの意見がある。
- ・他方、自動販売機のような飲料・酒特有の要素も存在する。これについては新たな論点として検討する必要がある。
- ・以上を踏まえ、令和2年度においては、加工食品懇談会に「飲料・酒分科会」を設け、昨年度までの加工食品懇談会等の議論を前提としつつ、さらなる取組みの深度化を図ることとする。

【スキーム概念図】

加工食品懇談会

飲料・酒分科会

【メンバー】

加工食品懇談会のメンバーを基本としつつ、飲料メーカー、飲料の取扱いの多い卸業者、自動販売機オペレーターを加える。

【検討イメージ】

- ・荷待ちを減少させる取組(予約受付システム等)の検討
- ・加工食品懇談会ガイドラインやアクションプランで課題とされた取組みの中から飲料・酒分野で取組実施 等

加工食品懇談会
ガイドライン

加工食品分野
物流標準化
アクションプラン

SIP
物流・商流データ基盤
の検討

【スケジュール案】

- 9月18日 第1回分科会
※実証実験案について
- 9月上旬 実証実験等開始
※3~5事業程度を想定
- 2月中旬 第2回分科会
※実証実験結果のとりまとめ

【アウトプットイメージ】

加工食品懇談会において策定したガイドラインに実証実験結果を踏まえた内容を追補する。

【取組概要】

- 生乳の輸送に関する物流課題解決のための実証実験を実施する。※**生鮮食品を分析したところ、「生乳」物流の荷待ちが多いことから選定**
- 紙・パルプ(洋紙・板紙分野)、紙・パルプ(家庭紙分野)、建設資材それぞれのガイドラインで示した今後の取組の方向性に沿って実証実験を実施する。
- それぞれのガイドラインに実証実験結果を踏まえた内容を追補する。※**生鮮食品(生乳)については、サプライチェーンの関係者が限られていることから、新たに懇談会の設置やガイドラインの策定は行わず、パイロット事業のガイドラインに反映**

【スケジュール案】

- | | |
|------|-------------|
| 9月上旬 | 各実証実験等開始 |
| 3月上旬 | 実証実験結果とりまとめ |
| 3月中 | ガイドライン反映 |

【輸送品目別ガイドライン(建設資材、紙・パルプ(洋紙板紙・家庭紙))で示した今後の取組の方向性(抜粋)】

建設資材

- 荷主の配慮義務を踏まえた建設業の取引適正化の取組の推進 ⇒ 元請業者による物流へのマネジメントの強化
- ICTの活用による情報の共有化の推進 ⇒ 伝票情報や物流情報を現場が容易にアクセスできる環境整備を促進
- 附帯作業の軽減 ⇒ 車上渡しを原則としつつ、役割分担を整理し、納品条件を明確化

紙・パルプ(洋紙・板紙)

- 共同保管及び共同配送の実現に向けて ⇒ サプライチェーン全体の効率化を考慮した**メーカー共同倉庫の設置**等を検討
- 附帯作業の軽減 ⇒ 役割分担の明確による取引条件等の見直しとともに、危険が伴う作業(俵二段積み等)については機械化を促進
- 段ボール分野の方向性 ⇒ ①少量多頻度輸送及びリードタイムの改善、②薄型段ボールへの転換、③ユニットロードの標準化を注力

紙・パルプ(家庭紙)

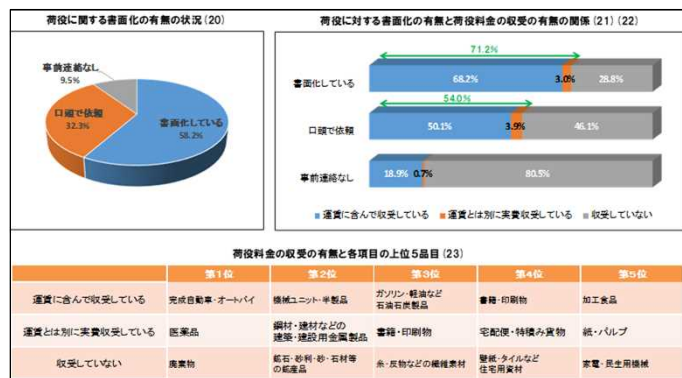
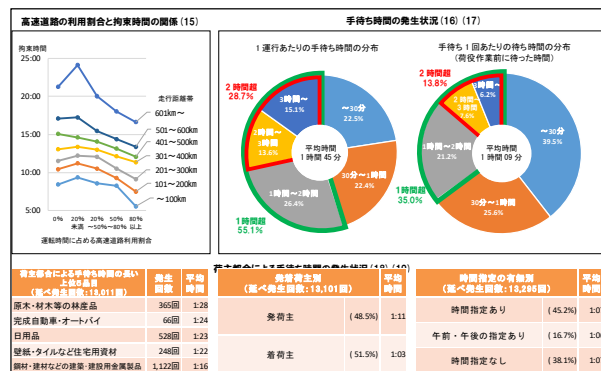
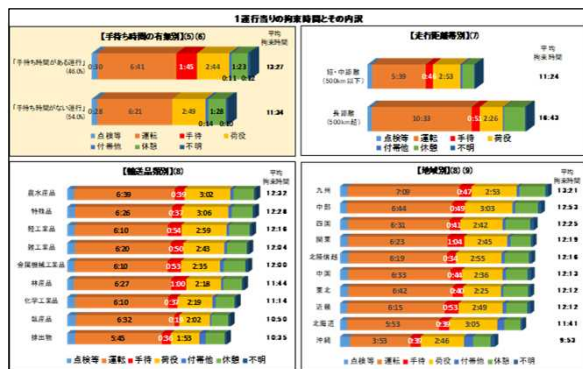
- パレット化の早急な促進 ⇒ 「**手積み・手卸しを解消する**」ということを共通認識として、更なる取組を促進
- コンパクト製品の普及促進 ⇒ 消費者へ製品メリットの積極的な周知を行い、サプライチェーン全体で検討を継続
- 小売店舗への配送方法の改善 ⇒ 都市内物流の効率化に向け、さらなる関係者が連携した取組を促進

貨物自動車運送事業における輸送実態調査（案）

調査概要

- ▶トラックドライバーの労働時間の内訳、荷待ち時間の詳細、荷役作業に関する契約の有無等、長時間労働の実態及び原因を明らかにし、取引慣行の改善や労働時間短縮のための検討に資することを目的に、平成27年度に「トラック輸送状況の実態調査（アンケート調査）」を実施。
- ▶前回調査からの改善状況等を確認するため、今年度、トラック事業者やドライバーを対象としたフォローアップ調査を実施予定。

平成27年度に調査を実施



前回調査からの改善状況等を確認するための調査を実施予定